

コントラクターをめぐる状況

平成22年2月
農林水産省

飼料生産の外部化等の推進

- ・ 飼養規模拡大や高齢化の進展による飼料生産労働力不足に対応するため、飼料生産組織やコントラクターによる労働負担の軽減及び飼料生産作業の効率化・低コスト化を促進することが重要。
- ・ コントラクター組織数は、平成12年度の180組織から平成20年度の522組織へと着実に増加。

○コントラクターの概要

	12年度	→	20年度
組織数	180 組織		522 組織
利用農家数	14,973 戸		19,852 戸
受託面積	61,581 ha		122,351 ha
	(※受託面積は飼料収穫作業の受託面積)		

○OTMRセンター

- ・ TMR(粗飼料、濃厚飼料、ミネラル、ビタミン、添加物等を混ぜ合わせ、必要な栄養素をすべて含んだ混合飼料)を調製し畜産経営に供給する施設。
- ・ 北海道を中心に組織数が増加。

	15年度		20年度
組織数	34	→	85
(うち北海道)	(7)		(35)

【飼料生産の外部化推進のための対策】

- ・ 地域における飼料生産の中核的担い手としてコントラクター(飼料生産受託組織)の設立・育成をはかるとともにその自立・定着を図るため、受託面積に応じて助成。

※22年度より廃止するもの

[長大作物生産の緊急推進]

受託作業	補助単価(千円/ha)
飼料作付作業(長大作物に限る)	27
飼料収穫作業(長大作物に限る)	40

[コントラクター業務の平準化の推進]

受託作業	補助単価(千円/ha)	
	初年度	2・3年度
飼料作付作業	15	7.5
飼料作付作業(長大作物)	22	11
飼料用稲作付作業	15	7.5
飼料収穫作業	28	14
稲わら収穫作業	24	12
稲発酵粗飼料収穫・調製作業	40	20
稲発酵粗飼料収穫・梱包作業(※)	28	14
稲発酵粗飼料ラッピング作業(※)	10	5
飼料用米収穫作業	30	15
TMR生産調製供給作業	40	20
堆肥処理・利用作業	32	16
堆肥切り返し作業(※)	6	3
堆肥運搬作業	10	5
堆肥散布作業	14	7
液状きゅう肥散布作業	5	2.5
草地更新作業	30	15
放牧管理作業(※)	10	5

コントラクターの育成状況

(1) 組織数の推移

コントラクターの組織数は年々増加しており、直近の10年間でみれば毎年約14%の伸び率となっている。

平成20年の組織数は500組織を超え、5年間で約1.6倍になっている。

◎組織数の推移

(単位: 組織数)

区分	平成5年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
北海道	16	55	54	77	82	107	122	146	159	165	172	176
都府県	31	94	98	103	118	160	195	254	278	282	307	346
全国	47	149	152	180	200	267	317	400	437	447	479	522

資料: 生産局調べ

(2) 利用戸数及び受託面積(飼料収穫作業)の推移

収穫作業の受託面積は年々増加しており(毎年約9%の伸び)、直近3年間の伸び率は毎年約10%の伸びとなっている。

また、収穫作業の受託面積は全飼料作物収穫面積の約14%となっている。

◎利用戸数及び受託面積の推移

(単位: 戸数、ha)

区分	平成5年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
北海道	利用戸数	536	2,954	3,034	3,249	4,345	4,687	7,269	7,504	6,940	7,491	8,074
	受託面積	8,718	39,636	43,790	51,869	51,173	66,969	78,683	78,107	85,267	89,712	104,912
都府県	利用戸数	2,844	12,015	11,351	11,724	11,968	10,200	15,023	12,299	11,335	13,165	12,204
	受託面積	3,963	11,804	10,391	9,712	10,168	9,924	10,864	11,567	12,485	11,991	13,358
全国	利用戸数	3,380	14,969	14,385	14,973	16,313	14,887	22,292	19,803	18,275	20,656	20,376
	受託面積	12,682	51,440	54,181	61,581	61,341	76,891	89,546	89,674	97,752	101,702	118,270

資料: 生産局調べ

注1: 利用戸数・受託面積は、コントラクター組織のうちアンケート調査回答組織数(平成16年度400組織中回答336組織、平成17年437組織中回答366組織、平成18年度447組織中回答379組織、平成19年度479組織中回答406組織、平成20年度522組織中回答424組織)

注2: 利用戸数は、畜産農家の利用戸数、受託面積は飼料収穫作業延べ面積

注3: ラウンドの関係で合計が一致しないことがある

(3) 受託畜産農家の内訳(平成20年度)

酪農経営と肉用牛経営の飼料生産の受託状況を見ると、北海道では、利用戸数、受託面積ともほとんどが酪農経営による受託となっているが、都府県では、利用戸数、受託面積ともに肉用牛経営の割合が高くなっている。

◎飼料生産受託畜産農家の内訳

(単位:戸数、ha)

区分	畜産農家 利用戸数	うち		畜産農家 受託面積	うち					
		酪農経営	肉用牛経営		酪農経営	肉用牛経営				
北海道	8,074	7,824	96.9%	250	3.1%	109,003	108,676	99.7%	327	0.3%
都府県	11,778	1,592	13.5%	6,725	57.1%	13,330	4,969	37.3%	6,311	47.3%
全国	19,852	9,416	47.4%	6,975	35.1%	122,333	113,645	92.9%	6,638	5.4%

資料:生産局調べ

注:利用戸数・受託面積は、調査の回答のあったコントラクター分の集計であり、
合計が100%にはならない。

(4) 作業受託面積(飼料収穫作業を除く) の推移

平成12年度から8年間に、耕起等作業、稲わら等収穫作業は約2倍に、堆肥散布作業は約2.4倍と高い伸びになっている。

◎作業受託面積の推移

(単位:ha)

		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
北海道	耕起等作業	3,823	4,437	5,278	5,584	4,545	3,582	3,117	5,871	7,724
	堆肥散布作業	12,527	20,799	16,544	23,743	26,333	28,708	27,818	31,351	29,502
	稲わら等収穫作業	196	219	98	139	259	327	293	834	852
	飼料生産関連作業	17,356	13,858	29,046	27,686	20,556	22,021	23,309	26,951	27,630
	その他の農作業	7,919	6,227	5,921	13,799	12,006	16,024	18,104	18,517	21,468
都府県	耕起等作業	1,679	3,196	3,066	1,629	1,409	1,426	1,487	1,630	2,343
	堆肥散布作業	1,077	1,355	1,409	1,290	2,081	2,869	3,098	2,542	3,173
	稲わら等収穫作業	1,785	1,711	1,346	1,749	2,134	2,627	2,629	3,679	3,265
	飼料生産関連作業	2,183	3,014	2,922	2,515	2,751	3,227	3,386	3,471	3,485
	その他の農作業	4,951	2,583	6,135	9,907	9,797	6,824	12,871	16,426	13,043
全国	耕起等作業	5,502	7,634	8,344	7,212	5,954	5,008	4,604	7,501	10,067
	堆肥散布作業	13,604	22,154	17,953	25,033	28,414	31,577	30,916	33,893	32,675
	稲わら等収穫作業	1,981	1,929	1,444	1,888	2,394	2,954	2,922	4,513	4,117
	飼料生産関連作業	19,539	16,872	31,968	30,201	23,307	25,248	26,695	30,421	31,115
	その他の農作業	12,870	8,810	12,056	23,706	21,803	22,848	30,976	34,943	34,511

資料:生産局調べ

注:ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。

2 経営別のコントラクター組織の状況(平成20年度)

コントラクターのうち、最も多い経営形態は営農集団等で全体の約5割を占め、有限会社、農協、農事組合法人がこれに次いでいる。

利用戸数、受託面積(飼料収穫作業延べ面積)も営農集団が最も大きなウエイトを占めている。

◎経営形態別コントラクター組織の概要

(単位:組織数、戸数、ha)

経営形態	全組織数	調査対象組織	利用戸数	受託面積
農協	53 (26)	48 (23)	5,492 (3,033)	44,808 (42,307)
市長村	1 (0)	1 (0)	1,267 (0)	182 (0)
有限会社	87 (55)	62 (32)	3,924 (1,501)	16,765 (15,629)
株式会社	27 (12)	26 (11)	1,228 (382)	4,537 (3,921)
公社	19 (2)	15 (2)	1,004 (187)	3,685 (2,795)
農事組合法人	53 (10)	43 (7)	595 (164)	5,613 (3,926)
営農集団等	282 (71)	229 (71)	6,342 (2,807)	46,762 (39,671)
うちみなし法人	2 (2)	2 (2)	55 (55)	792 (792)
合計	522 (176)	424 (146)	19,852 (8,074)	122,351 (108,249)

資料: 生産局調べ

注1: ()内は、北海道で内数。

注2: ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。

注3: 利用戸数は、畜産農家の利用戸数、受託面積は飼料収穫作業の延べ面積。

3 地域別の状況(平成20年度)

組織数では、畜産主産である北海道が176組織、九州が134組織、東北が79組織となっており、他の組織に比べて取り組みが進んでいる。

◎地域別コントラクター組織の状況

(単位:組織数、戸数、ha)

地域別	全組織	調査回答組織数	利用戸数	受託面積
北海道	176	146	8,074	108,249
都府県	346	278	11,778	14,102
東北	79	57	836	3,854
関東	44	40	382	1,604
北陸	11	10	12	70
東海	13	13	119	395
近畿	10	9	35	82
中国・四国	42	31	137	367
九州	134	105	8,023	4,286
沖縄	13	13	2,234	3,445
全国	522	424	19,852	122,351

資料: 生産局調べ

注1: ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。

注2: 利用戸数は、畜産農家の利用戸数、受託面積は飼料収穫作業延べ面積。

4 作業受託面積の内容(平成20年度)

(1) コントラクターの総受託面積は約23万haとなり、このうち約5割の約12.2万haが飼料収穫作業面積となっている。

この他、耕起等作業、堆肥散布等作業、稲わら等収穫作業、草地更新作業等を受託している。

また、耕種作業等についての受託もあり、堆肥散布作業の他、水稻の移植、収穫及び農薬散布作業、麦の播種作業、野菜の耕起作業等を受託している。

(2) 地域別に見ると、受託作業全体で北海道、九州、東北、沖縄の順で面積が多くなっている。

◎作業受託面積の内容

(単位:ha、%)

地域別	受託面積	(単位:ha、%)											
		飼料収穫作業		耕起等作業		堆肥散布作業		稲わら等収穫作業		飼料生産関連作業		耕種作業等	
北海道	195,425	108,249	55.4%	7,724	4.0%	29,502	15.1%	852	0.4%	27,630	14.1%	21,468	11.0%
都府県	39,411	14,102	35.8%	2,343	5.9%	3,173	8.1%	3,265	8.3%	3,485	8.8%	13,043	33.1%
東北	10,785	3,854	35.7%	550	5.1%	828	7.7%	362	3.4%	1,542	14.3%	3,649	33.8%
関東	3,312	1,604	48.4%	410	12.4%	363	11.0%	486	14.7%	169	5.1%	280	8.5%
北陸	706	70	9.9%	36	5.1%	238	33.7%	27	3.8%	13	1.8%	322	45.6%
東海	1,067	395	37.0%	144	13.5%	102	9.6%	296	27.7%	39	3.7%	91	8.5%
近畿	191	82	42.9%	18	9.4%	47	24.6%	34	17.8%	10	5.2%	0	0.0%
中国・四国	2,773	367	13.2%	147	5.3%	494	17.8%	155	5.6%	153	5.5%	1,457	52.5%
九州	16,612	4,286	25.8%	1,036	6.2%	1,100	6.6%	1,862	11.2%	1,450	8.7%	6,878	41.4%
沖縄	3,967	3,445	86.8%	3	0.1%	3	0.1%	39	1.0%	111	2.8%	366	9.2%
全国	234,836	122,351	52.1%	10,067	4.3%	32,675	13.9%	4,117	1.8%	31,115	13.2%	34,511	14.7%

資料：生産局調べ

注1：構成比は受託延べ面積を100%とした各面積の比率

飼料生産関連作業とは、草地更新作業(播種等)、除草剤散布作業等である。

耕種作業等とは、水稻・大豆・麦等の移植・播種・収穫作業等である。

注2：ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。